

善に寺中報

ぜんじんじじまつ

発行日 平成二十四年一月一十日

第八号

御絵伝特大号

発行人 青山 滉
発行所 東京都文京区小石川4丁目1-3善一の町
眞宗大谷派 石川山 善に寺

電話 03(3361-1)4303
ファックス 03(3361-1)3303
メール kbkpm386@ybb.ne.jp
ホームページ <http://zenninji.web.fc2.com>

小町は御絵伝修復第一幅田が完成しました

」と記念いたしました。記念特大号

としてみました。通常の2倍の大きさで

ので製作苦労も大詫です。隅々まで丁寧

に丁寧で、大きさには御絵伝の修復工事

をもつて次ページに譲りまして、久しぶり

に丁寧で、大きさには御絵伝の修復工事

佛様とは

「佛様」とはどんな人が

答、「佛様は、やれは無無

阿弥陀仏と申すやうですが

るとやうへば、やうになつます

「佛様はどない居つたが

わざか極無阿弥陀仏と信じ

称する人の面前においでになります

二、佛を私達が念

あるいはどのやうな方法が

ありますか

海無阿弥陀仏と一念疑なむ

自力では大いにあります

静なる心をもつて化願し

せひの罪滅き私をたす

けましませと伏あるひできま

これはだれでも どひじる「キ

じつでも、大なしに場合でも、うわし

い鄰ねじもたやまし自由に仏を

念佛あるひと大であるひです

「佛が現前する時、大なる煩惱

が心に生じて、やがては私ではありません

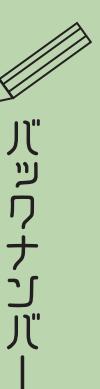
是を真の救済と申します

これは曾我量深先生（一五九〇～一六四〇）といふ
新潟県の浄恩寺の元住職であつて、大谷派を
代表する真宗教学の先生のつづいた詩で
す。よく真宗のお寺の詩の扉額が飾つて
しまふので、田にされたらひとがある万も多い
かと思ひます。

浄土真宗の教えは念佛すれば救われる
と謂われても、かくしてこんな疑問がわ
かります。

この問題は、常に「佛様などあり
ませんか？」、「佛様などありますか？」
などと問われても、かくしてこんな疑問がわ
かります。

この問題は、常に「佛様などありますか？」
などと問われても、かくしてこんな疑問がわ
かります。



バシロナゴバー

善に寺中報バックナンバーは志納所

（販売）横にあります。

送付の希望の方は、連絡下さい。

最新即発送の際は、お手数をお送り

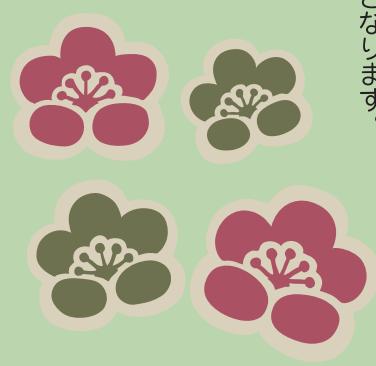
いたします。メールでの送信（PDF形
式）をお取扱いください。扉頭（PDF形
式）をお取扱いください。扉頭（PDF形
式）をお取扱いください。

Adobe Reader（Ver.7以上を
推奨します）へコーン（ヘム）が必要

となります。

「なへどだ、簡単じやなつた。」といふことでした
か。 でも「罪滅き私」などいふことを本心か
い田舎者（アーバン）とは本末逆転されてしま
ふから、わがひとは懲りじとよんじるにあつ
けど、まあ結じて、私は私（じこ）人間の部類
に入らぬじよです。

そして、やがては自分（じこ）と最後には頼つ
です。でも「自力のせか（じこ）をすくへ



特集

親鸞聖人御絵伝修復 一幅目が完成しました

一昨年より一年間かけて募財を呼びかけさせて頂きました、親鸞聖人御絵伝の修復がようやく一幅完成にいたりました。ご報告と共に、親鸞聖人御絵伝について簡単に紹介していきたいと思います。



修復開始頃の様子。生地のシミがひどい状態でした。

ておられる夢想を感得した情景が描かれています。



当山御絵伝は戦災を免れた、当山に残る数少ない寺宝の一つです。

しかし、防空壕に持ち込んだことにより、壕内の泥水を被り、シミと汚れが付いてしまいました。

残念ながら今回の修復では完全にキレイにすることはできませんでした。しかし、この汚れも善仁寺が歩んできた歴史を物語つっていくことになるのでしょう。

お墓の代表者の変更について
お墓の代表者がお墓の所有者です。代表者が死亡、その他の理由により管理ができない場合は、速やかに代表者変更の手続きを行って下さい。所定の用紙があります。

代表者が死亡して三ヶ月以上、承



筆入れ修復の様子。巣山さんの技術によって蘇りました。

・他所にお墓をお求めになる前に・

お墓が当山境内にある方は、他所にお墓をお求めになる前に、当山にあるお墓を整理する日処を立ててからにして下さい。ご先祖からお伝え頂いたお墓を大事して下さい。遠方にお住まいでお参りできない方、宗旨が変わるなどの理由であっても、お墓にお納めされて

善仁寺からのお知らせ

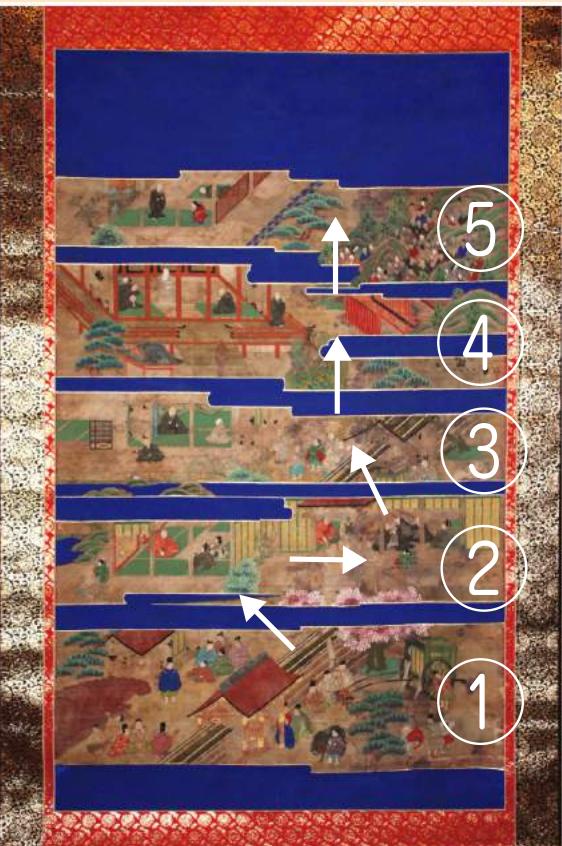
さて、今回完成した一幅はどの
ような場面が描かれているのでし
ょうか？ 左の写真をご覧下さい。
下から進みます。

①は「青蓮門前」です。青蓮院と
いうお寺に九歳で得度をお受けに
来られた親鸞聖人が院に入ったあ
との門前の余情が描かれています。

②は左右に分かれしており、左側か
ら進みます。左は「青蓮客殿」、右
は「得度剃髪」です。客殿において
慈円僧正と対面する親鸞聖人の様子

から右の得度受式をされておられる
場面まで。

親鸞聖人の得度には明日に受式する



善仁寺蔵御絵伝（第一図）の修復完了後
(絵修復 / 巢山 央 表装 / 大林堂)

シミは大きく残っていますが、彩色や人物の表情など完全に修復されています。シミ抜きは絵が消えてしまう恐れがあり、行いませんでした。

◆ ◆ 巢山 央氏略歴 ◆ ◆
1994年 名古屋芸術大学絵画科日
本画専攻卒業
1972年 長野県佐久市に生まれる
在学中より公募展・個展
・グループ展などで作品
を発表
2002年 この数年前より成田山萬
福院（名古屋市）におい
て、御本尊不動明王像
並びに四大明王像の彩
色担当として参加。

親鸞聖人はそれまで天台宗のご本山である比叡山で堂僧として不断念仏のとても厳しい修行に励んでおられたのです。

④は「六角告命」です。親鸞聖人が六角堂（京都）において救世觀音のご示現をご覧になられた様子です。この告命が親聖人が法然上人のもとへ入室された動機といわれています。どんな示現があつたのか気になりますよね？ またいつか紹介します。

⑤は「蓮位夢想」です。蓮位房（親鸞聖人の常隨のお弟子）が聖徳太子が親鸞聖人に向かって礼拝し

度の当山の報恩講（十月十八日）にお披露目させていただきます。本当にありがとうございました。ご懇意下さりました皆様方には、本当にありがとうございました。四幅全てが完成するまでには、まだ数年かかりますが、期待してお待ち下さい。

今回の修復は日本画家、仏画師など幅広く活躍なさっておられます
巣山央さんにお願いいたしました。
皆様方には今年（平成二十四年）
度の当山の報恩講（十月十八日）
にお披露目させていただきます。
巣山央さんにお願いいたしました。
度の当山の報恩講（十月十八日）
にお披露目させていただきます。

お墓の使用権をお寺に返却して下
さい。

ますご先祖のご遺骨を新しいお墓
に改葬することがまず初めになさ
ることではないでしょうか。
また、新しいお墓がお寺のお墓で
ある場合は、そのお寺を支える檀
信徒となるということです。

その前に、善仁寺檀信徒を離れる
こと、お墓をきちんと整理して、
お墓の使用権をお寺に返却して下
さい。



連載

仏陀～生涯と教え～⑤

「アーリア人と身分制度」

今回は釈尊から少し離れまして、インドの当時の様子に眼を向けてみたいと思います。仏教が生まれた背景についてお話をさればと思います。

さて、インドと書いて思い浮かべる」といえば何でしょう? 「カレー」や「タージマハル」でしょうか。むろん、インドについて教科書で翻った中に「カースト制社会」であることがとを覚えていますか?

ヒンドゥー教の身分制度と言われますが、その原形はシッダールタ王子が生まれた頃にも、既にありました。

シッダールタ王子の生まれる、はるか昔、紀元前1500年頃(多説あり)にアーリア人と呼ばれる人々が印度に入ってきた。もちろんインドには既に人が住んでいました。先住民です。アーリア人による征服を逃れ

るために、彼らはインド南部へ分散していったそうです。

紀元前8世紀頃、アーリア人はガンジス河流域に村落を形成し、安定した農耕生活を開始しました。

社会の発展とともに祭式を行う神官階級(司祭者)は「バラモン」と呼ばれました。そして、力を持つようになりました。

その下位に王族・武士の「クシャトリヤ」、庶民の「ヴァイシャ」、先住民を主体とした「シューデラ」という身分制度ができあがつてきました。

これをヴァルナ(四姓)制度といいます。この4つの身分に入らない、やがて下位の身分を「アチュート」といいました。

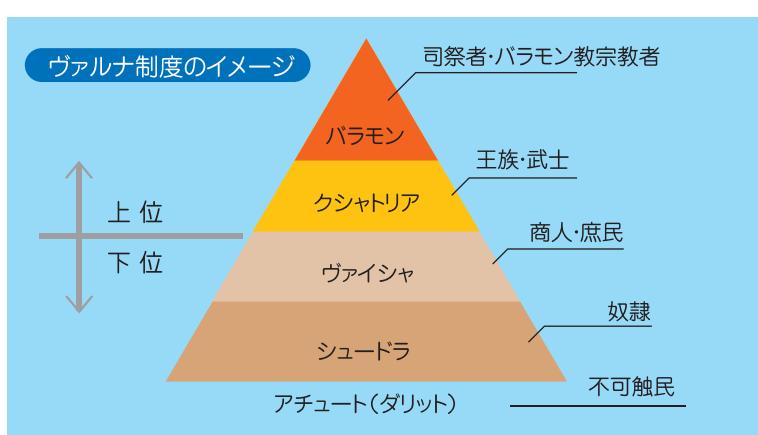
た。もともとは肌の色に由来する身分制度であったとされます。侵入してきたアーリア人の肌が先住民に比べて白かったということで、自らの肌の色を優位人種と決めた身分制度であったようです。

さて、シッダールタ王子は王族ですか「クシャトリヤ」に属する訳です。後に形成される仏教教団は、「の身分制度に反対する「自由思想主義」の

沙門(バラモン教以外の出家修行者)^{しゃもん}の集団であったといつ見方もできるのです。
特にその指導者である者がヴァルナ制度のもとでは上位にある「クシャトリヤ」の身分であつたことは大きな意味を持ったのではないかと想います。(つづく)

熱氣によくなものでしょうか。榮龍寺さんの「門徒皆さんによる御華束つくりは、そんなことを私に教えてくれました。

(合掌)(つよひまん)



御華束に使用するお餅をついている様子。

備後記